

市民フロンティア



URL <http://www.cskobe.com/>

E-MAIL info@cskobe.com

発行人：中村順子 編集人：梅木利恵

【CS神戸最前線】

「どうなるの？ 一年後」 ～ CS神戸 第16回スタッフ研修会 ～

坂本 登 (CS神戸副理事長)



スタッフ研修は途中の休憩も取れずに予定を30分もオーバーして5時間も熱論が続いた。

なんで？ そう、各自が担当するプロジェクトの現状分析と将来計画がスタッフの熱意で微にいり際を穿った発表になったからです。

この研修はCS神戸の誕生以前からCS神戸の成長にむけて援助を続けているトータルアドバイザーの星野裕志さん（九州大学大学院教授）が進め方について青写真を描いてくれたもので、要約すれば第一段階として各プロジェクト担当スタッフの現状の分析、第二段階として、そのプロジェクトのCS神戸事業全体の中での質的分析と、量的分析、その結果としての存続（スクラップ＆ビルド）の位置づけ、第三段階としてその結果を総括する（期待した姿に届いたか）というものです。今回の研修はその第一段階で年始には第二段階、そして一年後に総括し一応完結するということになります。

第一段階の現状の分析では、財務の視点、顧客の視点（受益者の満足度）、業務プロセスの視点（効率化、付加価値）、学習と成長の視点（スタッフの満足度ややりがい）そしてその事業をNPOが行うことの意義を具体的に考察し、一年後には量的な成長、質的な成

長でどんな変化が期待できるかを予想し、もし成長が期待出来ないとすればその事業を継続する意義はどこにあるのかを議論するというものです。

現在CS神戸が抱えているプロジェクトは委託・補助事業や自主事業を含めて24あり、加えて連携事業の事務局や講師活動、会計・庶務の総務部門があります。これを11人の常勤スタッフ、数名の非常勤スタッフ、30人程度の現場採用スタッフ、それに一部外部発注の総務、それに数多くのボランティアが加わって理事・監事の監督のもと遂行されているのが現状です。今年度から新たに3年予定の「介護サービス情報の公表調査事業」が加わりこの事業には更に時限で50人程度が活動に参加する予定です。

これまで理事会で度々取り上げられてきたのはもっと選択が必要ではないかということでした。それは兼務をしているスタッフの負担の問題やCS神戸の性格がいまひとつ明確でない等の指摘からです。挑戦分野も広げすぎではないかというものです。今回の研修の目的の一つにその答えを探る意図もありました。しかし、今回の研修では一つの事業が他と合体できるとされた以外は各視点に亘る現状分析もその意義の確認も成長予想もプラスでした。更に新しい分野の開拓まで各プロジェクトスタッフの意欲には自信が見えました。研修の日程表にもあるように総括をするのは一年先ですが、その意欲の現れと今回の客観評価の結果を総合して一年後には「どうなるの？CS神戸」にどんな採点がくだされるのかその成果が楽しみです。

KUC、兵庫県域の障がい者福祉や市民活動の支援と交流拠点をめざして…

— 木口ユニバーサルセンター支援事業 —

木口ユニバーサルセンター（KUC）とは？

財団法人木口ひょうご地域振興財団は、1998 年に設立し助成事業を開始して 10 年を超え、800 団体を超える活動団体とお付き合いをし、市民団体活動の実態に関する膨大なデータを蓄積してきました。

この実績を下に芦屋市から購入した土地に 4 階建て、延べ約 1 万㎡の建物「KUC」を 2010 年 7 月に竣工します。うち約 7,000 ㎡のスペースを芦屋市の福祉センターとし、残りの約 3,000 ㎡の KUC 専用スペースには、広く市民活動の拠点として障がい者の仕事づくりのプログラム開発や就労移行支援の場として活用し、「スロースタイル・レストラン」も開設します。

「KUC」の新たな事業展開は 3 つあります。

一つ目は、障がい者のソーシャルファームや職業能力開発、職場開拓、ジョブコーチなどの**就労開発事業**です。研究会を立ち上げて、就労開発に関する独自の調査研究活動をめざすとともに、KUC の清掃や植栽の維持管理業務、レストラン運営事業を就労開発の研究の場として提供します。KUC での就労を一般就労への移行の場として活用します。

二つ目は、障がい者の社会参加を進めていくためにも不可欠である、新しい市民社会を支える幅広い市民活動の発展をめざした市民活動の**人材開発と研修・育成事業**です。研究会を立ち上げて、市民活動を担う人材開発の調査研究や研修事業、活動の場とのマッチング事業を進めます。

三つ目は、障がい者の社会参加や市民活動の前進へ向けた**制度研究や市民活動の情報収集・分析事業**などを進めていきます。

これらの施設と機能が一体的に果たす役割は、多様な人々が集い、主体的に活動し、安心・安全な暮らしと社会をめざす夢を育む**市民活動交流の広場（スクエア）**でもあります。21 世紀の新しい時代にふさわしい、ユニバーサルな社会を発信していく**スローなレストラン**という拠点で、食を通じて障がい者とともに夢のある活動を支援していきます。

KUC は芦屋市の福祉センター等との一体的な運用をめざしていますが、KUC は、芦屋市だけではなく兵庫県全体を対象とした障がい者福祉にかかわる活動や市民活動を広くサポートする中間支援機能を重視し、兵庫県内の市民活動の交流拠点として育てていきたいと考えています。

スロースタイル・レストランへの願い

「スロースタイル・レストラン」は、地域住民の交流の場として活用していき、命のつながりのある大地のエネルギーを感じる居場所であり、食べることの喜びが生きることの喜びとなる食の継承を伝えていきます。大地、海、空、そしてたくさんの人々の労働、この食事を頂くのに値する人になれますように、全世界の沢山の人が飢えて苦しんでいることを忘れないように、この食事をいただきますというレストランをめざしたいと思っています。



（支援事業セクション：国枝哲男；

（財）木口ひょうご地域振興財団評議員 兼 選考委員）

丹波・篠山と阪神間をつなぐCB起業

— ふるさとCB創出支援事業 —

務所も設け、5月からスタート。既にその新しい芽が育ち始めており、その事例を2つ取り上げご紹介します。

丹波竜の里

日本最大の恐竜の化石発見で有名になった丹波市山南町上久下地区。そのまちづくり協議会が「恐竜をいかしたまちづくり事業」で農産物等の販売所を作りました。その収益事業部分を自治会で行うには「自治会がお金儲けをするのか？」などと問題が出てくるのでNPO法人にして運営しようと計画中で、その設立相談を受けています。

学童保育

篠山市では、現在JAが2箇所、社会福祉法人が1箇所ですと契約して学童保育が民営化されています。市は法人格と契約することにしており、責任の所在がハッキリしない自治会とは契約できない条例でありますから、城南地区まちづくり協議会からNPO法人化の相談を受けています。現在、城南小学校敷地内にあるまちづくりセンターを増床改築して学童保育場所を作り、地域内でどのような法人組織にするのか検討中です。法人の役員体制等が決まれば申請手続きの支援も始まります。

その他、丹波地方の余剰野菜・B級野菜の販売先を探す支援、農家民宿を開き都市との交流事業を行いたい方や地域お越して始めた加工食品の販売支援、田舎の家やお墓の見守り隊設立支援、関西大佐治スタジオのローカルコミュニティビジネス創出の支援など多岐に渡り取り組んでおります。しかしながら新しいことには反発なども多くまた、その地域に溶け込むのもなかなかですが、CBも徐々に浸透しつつあると思います。

(支援事業セクション：丹波事務局 臼井隆夫)



土日限定OPENの物産販売所



城南まちづくりセンター

支えあいの気持ちから“おともだち”に発展

— コミュニティフレンドの育成と活用のための養成講座事業 —

障がいのある人の“まちなかのおともだち”を「コミュニティフレンド」と呼んで、違う電話で話したり自宅で一緒にくつろいだりという普通のともだち関係づくりのお手伝いをすることを目的に、関西では初めての『コミュニティフレンドの育成と活用のための養成講座事業』を財団法人木口ひょうご地域振興財団の助成をいただき、実施します。

この取り組みは、障がいのある人の成年後見や生活支援をとともに考える千葉県NPO法人PACガーディアンズが最初に手掛けたもので、友だちが欲しいと思っている障がいのある方（主に知的障害のある方）と学生、主婦、会社員、福祉の支援者など様々な年齢の人が、介護サービスとは違い楽しみながら活動しています。

CS神戸では、介護保険枠外サービスの活動を障がい者支援にも拡大していく目的から、トータルケアシステムの事業の一環として取り組んでいきます。始めの半年間は、東灘区自立支援協議会のメンバーの中から特に知的障がい者の支援に取り組まれている方々にも関わっていただき、6回に亘る研究会で障がいのある当事者にとって必要なコミュニティフレンドやコーディネートのあり方などについて学び、講座のカリキュラムを検討します。その後、当事者とコミュニティフレンドをつなぐコーディネーターの養成講座と、担い手を育成するコミュニティフレンド養成講座を実施します。

2008年度に、実験的にコミュニティフレンドを疑似体験できる講座を実施した時から反響が大きく、コミュニティフレンドに対する必要性が当事者とコミュニティフレンド志向者の両者から強く求められました。既に、障がい者からは「コミュニティフレンドが欲しい」との要望があり社会の仕組みとして定着できるよう、今年度はコーディネーターの養成が急務、かつ更なるコミュニティフレンドの養成が必要な状況です。この活動を通して障がい者がコミュニティフレンドを見つけることにより、親や介助者以外の真の人間関係を創り、信頼関係を構築していくことで、親亡き後も安心できる社会づくりに寄与したいと考えます。

(担当：梅木利恵)



今年3月のフレンド探しの場面

本校&サテライト 全5日間の日程を終了！

— NPO大学 —

今年で13回目となるNPO大学は、昨年に引き続きサテライト校と本校の2本立てのプログラムとなりました。



本校は今年度初めて、中間支援組織等で相談業務に関わるスタッフのみを対象とし、SWOT分析とBSC（バランス・スコア・カード）について学び合いました。SWOT分析とは、組織の内部環境である強み（Strength）、弱み（Weakness）、外部環境である機会（Opportunity）、脅威（Threat）を総括的に分析し、客観的に組織の現状を知ることができる手法です。NPO大学では、長年にわたってSWOT分析を取り入れてきましたが、「スタッフ間の課題共有に有効だった」、「事業計画を立てるにあたって、スタート地点の確認ができた」など、今年も「役に立った」という声が多く聞かれました。

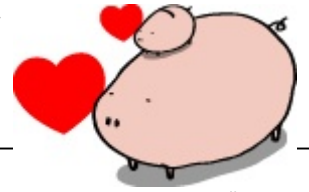
SWOT分析で課題を抽出した後は、いよいよBSC。①財務、②顧客、③業務プロセス、④学習と成長の4つの視点から、数値目標を設定し、実行可能な戦略を立てていく手法です。同一団体から複数名で参加してくださった方が多く、あーでもない、こーでもないと、議論を重ねながら数値入りのBSCが完成していきました。2日間の講座終了後には、参加者有志による交流会も開かれ、夜遅くまでワイワイと盛り上がりました。

本校が終了した翌週からは、①阪神南（芦屋）、②北播磨（小野）、③阪神北（三田）の3ヶ所で、それぞれ「NPO法人あしやNPOセンター」、「NPO法人北播磨市民活動支援センター」、「NPO法人場とつながりの研究センター」と共催で実施しました。本校に参加した共催団体のスタッフが、サブ・ファシリテーターとなり、運営委員や講師とともにアドバイスにあたりました。サテライトはそれぞれ全1日完結型のタイトなスケジュールでしたが、SWOT分析やBSCのワークシートが完成まで個別にサポートしたため、満足度は高かったようです。参加者からは「とても良いプログラムなのに、もっと広く告知するべきでは」、「同一団体からの複数参加の場合は団体割引制度をつくってほしい」など、前向きなご意見もいただきました。また、次年度以降の参考にさせていただきたいと思います。（支援事業セクション：飛田敦子）

NPOひょうごしごと応援ナビ スタート

— 6生きサポが連携して就業の導入から定着までサポート —

昨年の秋以来、世界的な不況により経済状況が急激に悪化し、雇用不安は深刻さを増しています。そのような厳しい現状の中で、ワラビーをはじめ、県内6カ所の生きがいしごとサポートセンター（以後、生きサポ）では、少しでも求人・求職のマッチングを進めたいという思いで、日常の相談業務に加えて合同就業相談会などを開催してきました。しかし、景気回復の見通しは不透明で、継続的に就業を支援する必要性が生じています。そこでスタートさせたのが「NPOひょうごしごと応援ナビ」です。これは、連合の「雇用と就労・自立支援カンパ（トブ太カンパ）」の助成を得て実施するもので、生きサポを運営している6NPO法人が生きサポ事業と連携しながら、就業の導入講座から職場の定着までを継続的にサポートするプログラムです。事業内容は以下です。



① 合同フォーラム

雇用状況の現状や幅広い仕事

の選択肢を紹介できるようなフォーラムを開催します。

② 就職ウォームアップ講座

ビジネスマナーを学ぶ講座など対象者のスキルアップを図ります。（毎月いずれかの生きサポで実施予定）

③ ジョブナビ

就職後の職場定着のため、雇用側・就職者側の双方に対し総括的にフォローする専門相談員（2名）を導入。各生きサポからのニーズに即応します。

キャラクターのトブ太くん

助成金事業のため限られた期間内の試みではありますが（2009年10月～2010年5月）、既存の働き方や価値観のみにとらわれることなく、少し



でも多くのマッチングや職場定着をサポートできれば、と考えています。

NPOひょうごしごと応援ナビ

<http://hyogo-shigoto.main.jp/>

＜ 構成団体 ＞

◆NPO法人シンフォニー ◆NPO法人宝塚NPOセンター
◆NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸 ◆NPO法人しゃらく ◆NPO法人シーズ加古川 ◆NPO法人コムサロン21（いずれも生きサポ運営のNPO法人）

（支援事業セクション：飛田敦子）

いよいよ本格稼働いたします！

— 介護サービス情報公表事業 —

研修会を重ね、一丸となる調査員



公表調査業務の
本年の計画は遅延
し、約半年間の準備
期間の後に 11 月
から開始します。こ
れは新参者の私た
ちには大変有利に
働き、この期間を利用

して独自の研修やマニュアル作成をすることができました。当 NPO 法人CS神戸の特色についても理事の方々から説明があり、みんなで調査を進めていくという一体感を創り出すことができました。第 5 回目の研修時のグループワークは大変盛り上がり、初めての事業に対する不安感等は、経験者のアドバイスにより軽減し、門出にふさわしい会でした。調査の未経験者は半数以上ですが、チャレンジ精神旺盛な混成部隊の 49 人の調査員となりました。

私の友人は最近、退職後、畑違いの分野でチャプレン（病院や施設の牧師）の資格をとり、9 月からの研修でアメリカにおります。『ほんの数回の研修後に現場に配属され、日本の免許でいきなりアメリカの大型バス（グレイハウンド）を運転しろといわれた気持ちでした。でも、やっと 3 回/月の夜勤をこなす勤務にもなれました。』というメールをいただきました。新しい事にチャレンジすることは、これに比して、ここは日本であり、日本語が通じる 48 人の仲間と行動を共にするのだと自分を鼓舞しております。12 月には実践からくる課題解決の研修会を企画しております。多くの方々に、ここまでのご支援とご鞭撻に深く感謝しております。

（担当：小林清隆）

社会に関わる、仲間に出会える、仕事につながる

— WAMNET助成金事業 —

スウェーデンの
福祉の事情をアン
ベッケン先生の講
演から知り、新ユ
ニメイト講座では
基礎的な介護・福
祉を学び、そして
地域の施設や事業

所を視て歩くフィールドワークでは、老健 2、特養 1、グループホーム 3、有料老人ホーム 1、その他 1 の 8 施設を 3 名の団塊の世代の方々が訪問しました。いずれの施設でも現場の声が聴けるスタッフとも面談の機会をもちたかったとの意見もありました。多くの参画者には訪問は初めての体験であり、地域に、こんな施設もあったのか、グループホームとはこのようなものなのかなど、もっと早くから施設の実情を知っておきかったという意見もありました。さらに、在宅高齢者の尊厳と自立支援がどのように守られているのかを知るために包括介護支援センターへのアンケート調査を行っています。来年早々にはフォーラム II を開催し、本プロジェクトは終了します。一年間の助成金をいただき、無我夢中で過ごした半年間、そろそろまとめの段階に入りつつあります。

ユニメイト第5期生が誕生の途



グループホームでの調査風景



（担当：小林清隆）



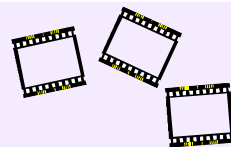
今年度も韓国からの視察団が...



【災害復興住宅高齢者元気アップ活動支援事業】のんびりイベント夏祭を開催



フォト ギャラリー



神戸大、神戸学院大、立教大、龍谷大からインターン 9 名参加

小ホールに♪ピアノが お目見え

— ボランティア活動資源マッチングシステム —

9月19日に、ボランティア活動資源マッチングシステム運営委員会を通じて、元 CS 神戸のスタッフである菅祥明さんのご実家からピアノを譲り受けました。



現在は調律も終わり写真ように講座大正琴、コーラスグループの伴奏にと大活躍です。さらに、このピアノのお陰で、リトミック音楽教室と

いう新規プログラムもスタートしました。小ホールの新しい文化サークルの掘り起こしにも、これから益々役立ってくれることでしょう。

また、ピアノと共にお母さまの弘子さまからお便りもいただき、お二人のお子さんが独立されたあと、約30年の思い出のあるピアノの旅たちに

物にも命が ピアノの「空地」じっと見つめる

と結んでおられました。

思い出のつまった大切なピアノを寄贈していただき、本当にありがとうございます。大事に活用させていただきます。（小ホール：兵頭修也）

【有料イベント】

「1.17を忘れない」地域の絆の再生を考えるイベント



阪神・淡路大震災の犠牲者の追悼音楽イベント（家族、地域の絆を深め共に震災経験者と震災を知らない新しい居住者とは繋がるきっかけの場となればと思っています。）

震災映像も上映します。神戸ジャズやミュージカルそして地域の中学生の楽器演奏をお楽しみください。

日程：2010年1月23日（土）午後1時開演

会場：東灘区民センター小ホール（魚崎）

『脳の健康教室』参加者募集中



やさしい計算と音読が脳（前頭前野）を活性化させるという東北大学・川島隆太教授（医学博士）の研究により専門的に開発された教材を使います。

期間：第8期 11月13日～5月まで
月4回、毎週金曜日

時間：9:20～11:30分の間で40分間

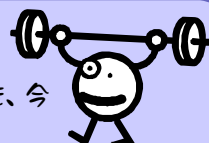
場所：東灘区民センター小ホール（魚崎）3階

内容：読み書き・計算の簡単なプリント学習

費用：月3,150円（教材費等1,575円含む）

対象：65才以上の通える方（30人程度）

縁の下の力持ち、篤い志…



はじめして。今年の5月より、駐輪場の経理業務を一部担当している佐藤雅志と申します。

私はうつ病で5年前に退職し、療養の後、JR神戸駅の近くにある、「社会就労センター（創）C.A.C」という施設で、再就職に向け、軽作業や事業所実習など、復職のためのトレーニングを約2年間続けて参りました。

そして、現在、病気や障害で一旦リタイヤした人向けの、リワークプログラムの一つである「社会適応訓練」の一環として、CS神戸に週3日勤務しております。

当初は、駐輪場の日々の売上げや定期券等の在庫のデータをパソコンで管理する、ルーチンワーク部分を担当しておりましたが、7月からは、駐輪場スタッフの方々の給与データや、売上金の銀行への入金など、重要なお金の管理も担当させていただくようになり、やりがいと責任を感じております。

今月は「初心者向け経理講座」に

も参加させていただき、今は日々の出納記録

だけしかできていませんが、その先にある、経営管理や事業計画作成など、経理担当者としてめざすべき目標を知る事ができました。

“心の病”からの社会復帰においては、「再び人間関係の中に戻る」ことが、最初の障壁となりますが、時折笑い声の聞こえる活気ある事務所の雰囲気や、にこやかに接して下さる駐輪場のスタッフの方々のおかげで、私はスムーズに職場になじむことができました。リワークに適した環境を提供していただけたことに、深く感謝しております。

ここに至るまで多くの、理解者と支援者に支えられて参りました。

数年後には、支援する側に立てるよう、事務、経理に加え、ボランティア活動や、CB運営についても、可能な限り学んでいきたいと望んでおります。

これからもどうぞ宜しくお願い申し上げます。

☆☆☆ 受賞 ☆☆☆ 神戸ソーシャル・ベンチャー・アワード

東灘・灘区における「トータルケアシステム」事業が、神戸市が平成15年度から実施している、地域の問題解決や地域経済の活性化などを目的とし、経済的にも自立をめざした新しい「神戸版コミュニティ・ビジネス」を行う市民や事業者に対する表彰している「平成20年度神戸ソーシャル・ベンチャー・アワード」を受賞しました。



新人スタッフのご紹介

(生きがいしごとサポートセンター神戸東 求人開拓担当 2名)

辻井 順子 (つじい じゅんこ)

厳しい雇用状況下の中、地域の皆さんと共に、働き場を求められている人と働く人を求めている企業様等を繋ぐ、お手伝いをさせていただく大変重要なお仕事に就かせていただいています。どんな時代も働く喜びや生きがい、気付きやチャンスを見出せた人が、幸せへの第一歩を踏み出せるように思います。人が人を愛し、お互いを思いやることの大切さを忘れない社会であり続けることを祈って止みません。自分の目の前にいる方を笑顔にしていく事に、力を惜しまず頑張っていきたいと思っています。日々の出会いと学ぶことの多さに感謝し、皆さんと共に歩んで行きたいと思っています。

また、ご縁合ってCS神戸の皆さんと、ご一緒させて頂き大変光栄に思います。今後ともよろしくお願いいたします。



日下 哲治 (くさか てつじ)

みなさん、はじめまして。今年のスローガンとして「独身男性、36歳、趣味は婚活よろしくね!」を掲げています。

ピーター・ドラッカーの影響から「NPO」で一度働いてみたいと思っていた矢先に短期間ですが「ワラビー」で求人開拓のお仕事を

させていただくことになりました。NPOの業務自体がこれまで勤めてきた営利企業とまったく正反対の内容からアプローチをしていくので、私個人としては毎日が驚きと発見の毎日で楽しく日々を過しています。求人開拓のため企業訪問をしていると、まだまだNPOの存在を知らない企業様にお会いすることが多く、微力ながら私も頑張ってお店の宣伝をもっとたくさんなくてはと思う今日この頃です。

至らない点が多いですが、どうぞよろしくお願い致します。

(CS神戸調査センター 担当 1名)

筏津 紀洋 (いかだつ としひろ)



10月よりお世話になってます。

“CS神戸”と兄弟NPOの“NALC”よりやって来ました。介護保険の公表調査の仕事に関わり始めて4年近くなりました、今回は地元の兵庫県の皆さまと一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

この間、介護実習で68歳の私が介護老人役となった時、50代と20代の実習生が寝た切り老人の私をとて大切に扱ってくれました、このような幅広い年代の人々と仕事ができることが楽しみです。

センターの仕事に余裕ができましたらCS神戸の色々な事業を少しずつ学びたいと思っています。

毎朝、夙川より甲山と六甲山を眺め住吉神社の境内を巡って出勤できる環境は最高です。

今後、摂津・淡路・播磨・丹波・但馬・淡路と美しく広い兵庫県をめぐる事を考え楽しい想像を膨らませています。

コミュニティ・ビジネス先進事例

秋の日帰りバスツアー



ユニークなコミュニティ・ビジネスの現場へ、
みんなでワイワイでかけませんか？

高齢者、障がい者、外国人、子ども、雇用…、社会には様々な課題があらわれています。様々な課題にビジネス手法を用いて、解決をめざすのが コミュニティ・ビジネス。今回はそんなコミュニティ・ビジネスの先進事例をめぐる日帰りバスツアーです。皆さまのご参加をお待ちしています！

-  **日時** 2009年11月18日(水)9時～16時30分
-  **集合** 住吉神社前(JR住吉駅下車南西へ徒歩2分/2号線沿い)
-  **定員** 20名(先着順)
-  **参加費** 3,500円(おいしいランチ、コーヒー・ミネラルウォーター付き)

<< みどころ >>

- ①まちづくりや高齢者支援「NPO法人寝屋川おいの会」視察
- ②子ども・多世代支援「NPO法人NPOぱれっと/ (有) office ぱれっと」視察 ぱれっとの野菜いっぱいランチも楽しみ♪
- ③ニート・引きこもり支援「NPO法人フェルマータ」視察 フェルマータのカフェでひと休み♪

<お問合せ・お申込み>

生きがいしごとサポートセンター(ワラビー)
TEL078-841-0387 担当:村上・飛田

【有料コンサート】

1.17 メモリアルコンサート**“竹下景子さん詩の朗読と音楽の夕べ”**

震災から学んだ人と人との絆、共に悲しむ心、いのちと平和の大切さを、メッセージとして「詩」に託し、竹下さんの丁寧な朗読は毎年静かな感動を呼んでいます。ゲストには震災追悼“祈りのコンサート”を「木のホール」（神戸市西区岩岡）で10年連続行なった板橋文夫“ミックスダイナマイトリオ”をお迎えし、すばらしい演奏もご披露いただきます。ぜひ、この時空間を味わいにお越し下さい。

日 程：2010年1月17日（日）18:30～（開場18時）

会 場：神戸新聞松方ホール（JR神戸駅）

出 演：竹下景子（女優・朗読）、

林晶彦（作曲・ピアノ）

板橋文夫ミックスダイナマイトリオ

入場料：前売2,500円、当日3,000円

（全席自由席）

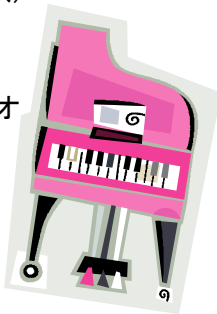
主 催：ぼたんの会実行委員会／

復興支援コンサート実行委員会

（CS神戸もメンバーです）

※この会の収益は、ぼたんの会のメンバーの活動に寄付されます。

CS神戸でも前売券の取扱いをしています。お気軽にお問合せ下さい。



14年目

ギフト・オン・ハート・カレンダープロジェクト

（実施期間：2009年12月～2009年1月）

神戸の復興住宅の高齢化率は40～50%に上り、社会との接点が少ないため、カレンダー類がなかなか手に入らないご家庭も多いのが現状です。2009年のカレンダーをお届けした際も、大変喜んでいただき、12月に入ると、「今年も楽しみに待っているのでもよろしくお願いします」という声がたくさん寄せられています。

現在、昨年ご協力いただいた企業や各種団体の方々にカレンダー・手帳類の寄贈をお願いしています。そのほかの方で寄贈いただける方がありましたら、是非お願いいたします。同時に、配達のお手伝いをして下さるボランティアの方も募集しています。

皆さまのあったかいハートを…

寄贈は…

年内は12/25(金)まで、年明けは1/4(月)～1/12(火)までに

配達は…

年明け1/5(火)～15(金)まで

（担当：梅木利恵）

**今年もやります！****CS神戸会員大交流会**

会員の皆さまに置かれましては、CS神戸の活動に多大なるご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。

昨年は、総勢54名にお集まりいただいた会員交流会、今回は、少しリッチに会場を事務所からレストランに変えて、以下の要領で開催いたします。「イヤー・エンド・パーティ」、別名“拡大暴力バー”に是非ご参加下さい！

日 程 12月18日（金）17:30～20:00

会 場 レストラン“ボネ” TEL 078-441-1666

東灘区田中町5-3-18 生活文化センター2階

対 象 正会員、賛助会員、ボランティア会員、スタッフ

参加費 1,000円（飲み放題・食べ放題）

※ビンゴ大会用プレゼントをお持ち下さい。（500円程度のものであれば、特別に購入したものでなくても結構です。）

飲物の差入れも歓迎いたします！（アルコール類、大歓迎♪）

会場やお料理の手配等の都合により、勝手ながら先着60名限定とさせていただきます。事前のお申込みをお待ちしております。ご参加いただける方には、別便にてご連絡いたします。

<お問合せ・お申込み>

TEL 078-841-0310、FAX 078-841-0312（担当：梅木）

会費・寄付をいただき、**誠にありがとうございました**

（期間 08年9/23～08年12/22、いずれも順不同・敬称略）
※トータルケアシステム、カレンダープロジェクトは別枠で取扱っています。

【会費】

筏津紀洋、伊谷須美子、臼井隆夫、江口聰、岡田雅幸、小西光子、小林るみ子、塩津つやこ、芝泰、太美 京、寺内智子、永峰喜枝子、中尾貢三子、根矢光二、松岡弘子

【寄付・寄贈】

太田章子、国枝哲男、菅 弘子、中村順子、村上義弘、

2009年度の会費未納の会員さま、新規入会ご希望の方へ

CS神戸の市民活動の応援を、引き続きよろしくお願いいたします。機関誌の定期配送や関係図書の特典などがあります。年末には、会員大交流会も予定しています。

【会 費】 個人会員 3,000円／年、

団体会員 10,000円／年

【振込先】 名義 NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸

郵便振替口座 00950-2-144205

編集後記

10月の半ばを過ぎると、標高の高い山々では既に冬支度で、毎年のように今年の山シーズンも終わったなあとしみじみ思います。しかし、六甲山はまだまだこれから…事務所の階段の踊り場から、山や空を眺めリラックスするのが好きで、これからは山の色づきの変化も楽しみです。 R